

農水産物の生産と流通を支援しています

- 食料供給基地としての持続的発展
- 北海道型地域構造の保持・形成

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

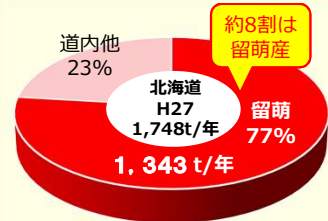
- 漁港の屋根施設の整備等により、ホタテ稚貝・活成貝の出荷量、移出・輸出量の増加を支えています。
- 深川・留萌自動車道の整備により、留萌地域の生産地から新千歳空港・苫小牧港等へのアクセスや輸送時間の短縮、走行の安全性・安定性等が図られ、出荷量・出荷エリアの拡大や貨物輸送・物流効率化等に寄与しています。

高速道路開通により出荷エリア拡大 【地域の強みを生かした産業の育成】

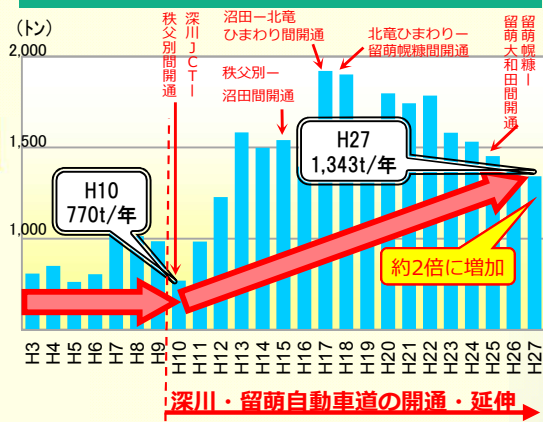
活甘えびの出荷



甘えび漁獲の道内地域シェア

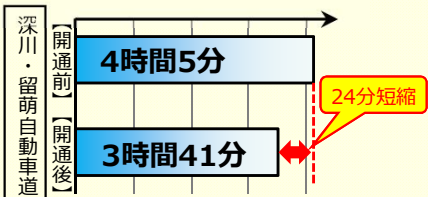


留萌産甘えび漁獲量推移と 深川・留萌自動車道の整備状況



新千歳空港へのアクセス時間の短縮による出荷エリアの拡大状況

○羽幌町⇒新千歳空港までの走行時間



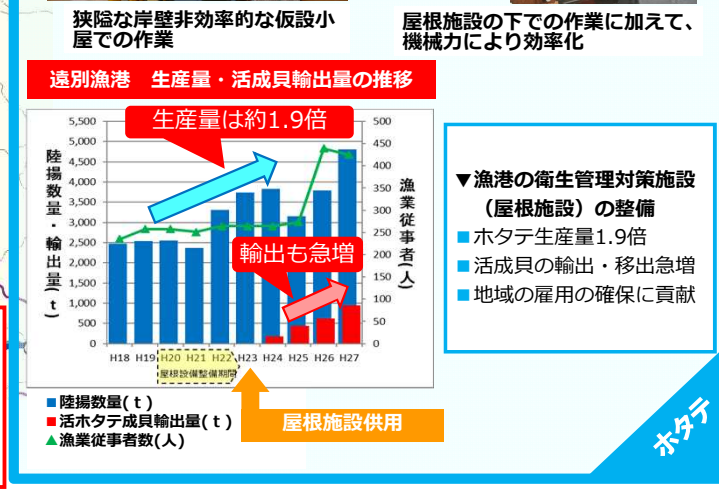
■輸送業者の声

- 深川・留萌自動車道の開通により、開通前よりも新千歳空港へ早く到着でき、より早い羽田便が利用可能になりました。これにより、羽田で福岡・伊丹への乗り継ぎ便に間に合うようになったことで、大阪・金沢・熊本の市場へ新たに出荷可能になりました。



- ### ▼深川・留萌自動車道の整備
- 輸送時間の短縮、輸送効率向上
 - 出荷量増加・出荷エリア拡大
 - 走行の安全性・安定性の改善
 - 重量貨物の陸送、甘えび、ホタテ成貝の移送

ホタテの生産を支える 【農林水産業・食関連産業の振興】



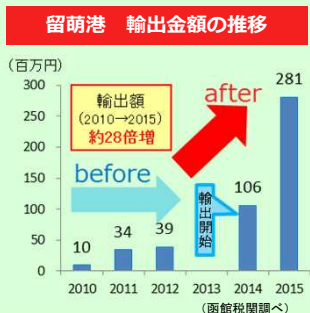
ホタテ

- 北海道型地域構造の保持・形成
- 強靱で持続可能な国土づくり

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

- 留萌港の整備により大型貨物船等の入港が可能となり、留萌管内のほか上川・空知の物流、輸出入を支えています。
- 深川・留萌自動車道の整備により留萌港へのアクセス性が向上し、輸送時間の短縮、走行の安全性・安定性等が図られ、出荷量・出荷エリアの拡大や貨物の陸送、物流の効率化に寄与しています。

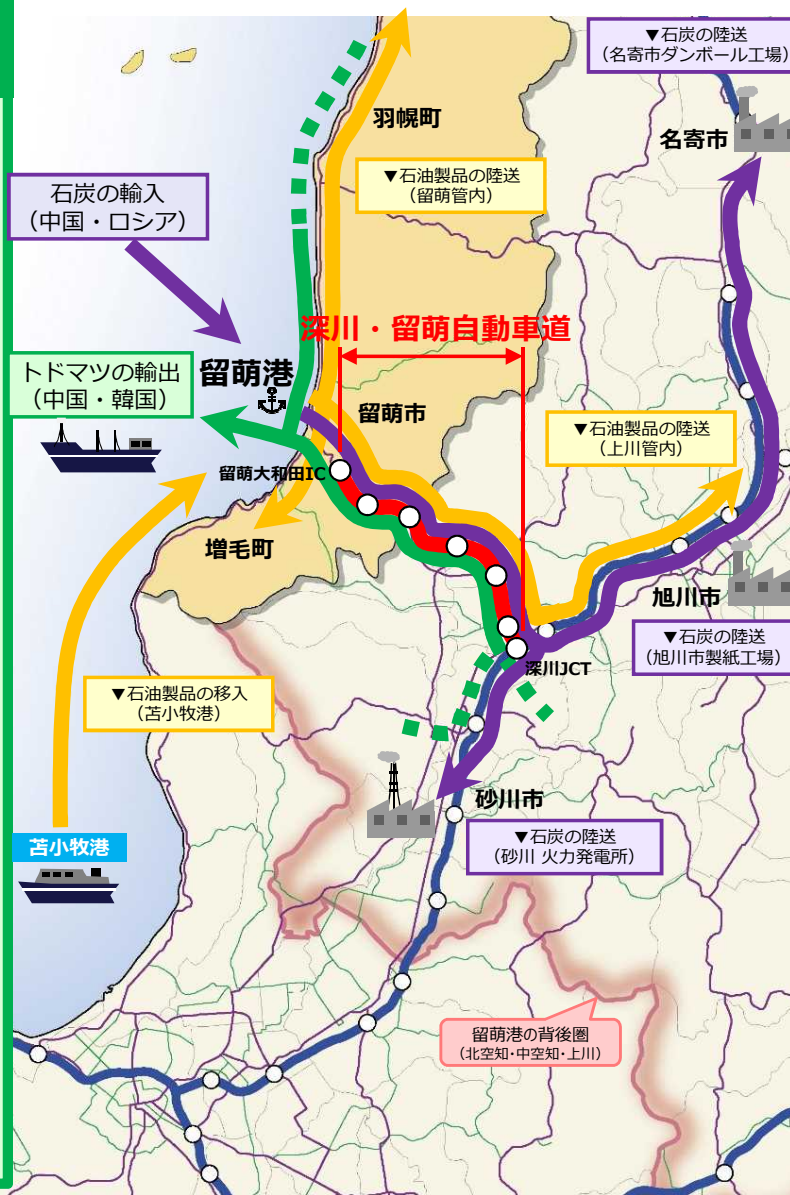
地域の発展を支えるみなと 【世界に目を向けた産業の振興】



- #### ▼留萌港からトドマツ輸出
- 2014年4月に中国、6月には韓国へ留萌・空知産トドマツを初めて輸出
 - トドマツの輸出により輸出貨物量が約740倍、輸出額が約28倍に増加



トドマツ



安心して暮らせる地域を支える 【産業を支える人流・物流ネットワークの整備】



▼石炭の輸入

■多目的国際ターミナル (水深12m)の利用により
→大型貨物船の入港が可能となり、背後圏への石炭の輸送コストを縮減(年間5億円)

石炭

安心して暮らせる地域を支える 【安全・安心な社会基盤の利活用】

旭川市を含む上川・北空知・留萌管内で消費される灯油の約7割が留萌港から供給

留萌港塩見地区にある油槽所は、灯油のほか、ガソリン・軽油等が取り扱われている

上川・北空知・留萌管内の灯油推定消費量に占める留萌港の取扱割合

| | |
|-------|-----|
| 他経由 | 30% |
| 留萌港取扱 | 70% |

留萌港には年間50~60万トンの石油製品が主に苫小牧港から移入されている

出典：一世帯当たり灯油消費量：H27策計調査（総務庁）
上川・空知・留萌地方の世帯数：H27住民基本台帳

石油製品